

社員の意欲が企業の柱に

松本で労働フォーラム



県中労政事務所と
 松本市はこのほど、同
 市島立の松筑建設会館
 で中信地区労働フォー
 ラムを開いた。社会保
 険労務士法人アンカー
 (48)が「ブラック企

企業担当者が労務
 管理のポイントな
 どを学んだフォー
 ラム

業と言われないため
 に」と題して講演し
 た。

松本・木曾地方の企
 業の人事・労務担当者
 ら約50人が聴講し、労
 働トラブルの現状や労
 務管理のポイントに理
 解を深めた。山本さん
 は、いじめや嫌がらせ
 に関する労働相談や、
 精神障害の労災件数が
 全国的に増加している
 ことなどを説明した。
 企業イメージを低下さ

せ、採用や人材確保に
 も影響するブラック企
 業と認識されないため
 に、労働時間の管理や
 時間外・休日労働に関
 する取り決め「36協
 定」の手続きの適正
 化、従業員の健康管理
 の徹底などの必要性を
 説いた。

法律上の定義を持た
 ないブラック企業につ
 いて、長時間労働など
 法令違反を指摘しつ
 つ、「従業員が主体的
 に仕事に取り組める環
 境があるのか」と疑問
 視し、働く喜びが持て
 る企業風土を構築する
 重要性を指摘した。

(横内里美)